

社外研修及び講習受講報告書

提出日	2025年 7月 8日 (火)
所属及び役職	
氏名	
開始日時	2025年 7月 2日 (水) :
終了日時	2025年 7月 4日 (金) :
研修名	首都圏キッド視察研修
研修会場	沖縄県那覇市周辺及び普天間基地周辺
講師名	

研修内容（概要）及び職場への落とし込み

初日は沖縄県トラック協会にて、意見交換会が行われた。

新城会長からは、沖縄県の現状の説明があり、その後浦添市議の平安山様からゲート

ウェイ2050プロジェクトについての説明。

2050とは、基地返還に合わせ魅力的な沖縄の将来像を描く為に、浦添市、宜野湾市、

那覇市が連携した取り組み。（2024年8月発足）

しかしながら基地返還は2024年、25年以降と言うことで、いつになるのか今だ未定。

※足りない場合は裏面へ

社長	取締役	取締役	役員	事業部	所属長

沖縄の課題として

低所得水準/1人当たりの県民所得2024年（254万）→2050年（624万）名古屋、大阪と

同等の水準に引き上げる（子供の貧困にも繋がっている）

交通渋滞/都市中心部の住宅価格上昇により郊外への移住が広がっているが、公共交通

機関が無く（モノレールは現在那覇、浦添のみ、高速道路はあるが北方面の足は車以

外には高速船のみ） インフラ整備が今後の沖縄発展のカギになると思われる

また、基地が無くなり働く所が奪われるのではないかと言う疑問も、現在の跡地使用

の試算では総生産で2050年には倍の11兆円、就業人口も77万から93万と雇用拡大が

期待されている

軍港/米軍や自衛隊が使用している港湾施設（那覇軍港、ホワイトビーチ、キャンプキン

ザーなどがある）

日本の米軍施設の70%が沖縄に集中しており、軍港にも注目が集まっている

平和学習では、

普天間飛行場（滑走路2.8 k m）を上からと横から見学

世界一危険な飛行場（市街地のど真ん中にあり、四方を学校、住宅地、商業施設が囲み

滑走路の延長線上にも大学、住宅が密集し戦闘機やオスプレイの離発着などで騒音問題

も発生

海岸から米軍が攻めてきた時の最初の砦がこの場所（現展望台広場）でトーチカと言う

コンクリートを固めた長方形（前面に銃撃の四角い穴、後方に人が出入り出来る穴）

の物で敵の攻撃を防ぎながら銃撃出来る役目

またこの場所には複数の慰霊塔があり中でも京都の塔があるのは、戦時中同郷の人間

で同じ戦地に派兵されるのが当たり前のようで、ここには京都出身の連隊が派兵され

た場所である

本来住民は避難させ軍人のみで戦う事が当たり前であったが、ここでは軍人と住民

が共同生活をしていた事もあり、住民も一緒に戦った場所なので犠牲者も多く出た

バスで下に降り滑走路の鉄網越しから見ると中にお墓が残っていたが、滑走路や重要施

設に付近にあったお墓は壊されたとのこと（沖縄は住居の横にお墓を作る慣習がある）

もともと人が住んでいた場所なので、地権者に家賃が支払われている（73億を広さと

場所で按分して支払っている）

広島、長崎が原爆投下で前面に出ているが、唯一の米軍との地上戦が行われた場所

（沖縄）の歴史を見聞きする事で考えさせられる事多く、また基地問題も沖縄県だけ

の問題では無く全国民で議論する必要性を感じた研修であった
